わきあいあい

第18号

佐伯中央病院増改築工事完成予想図

佐伯中央病院
広報誌

TOPIX

I 新年の御挨拶（表紙）
II 介護センターふれあいより
緩和ケア病棟クリスマス会
III 医療安全管理部より
豆知識～切り傷などの応急手当～
IV 一品レシピ・職員募集のお知らせ

本年も龍のごとく邁進していきます！

幸多き一年でありますように

昨年は東日本大震災や台風の被害など、甚大な自然災害に見舞われた年でありました。特に被災地で懸命に活動する医療従事者の方、ボランティアの方、そして地域の方々の復興に対する熱意には大変感銘を受け、私たち職員も見習わなければならない所が沢山あると感じました。

本年、佐伯中央病院は「地域の皆様に、今まで以上に選んで頂ける様な病院」を目標に、日々努力を惜しまず、常に質の高い医療を提供していけるよう取り組みます。また、昨年の秋より着工致しました増改築工事も、患者様のご理解の下、順調に工事も進んでおります。今年の秋頃には工事の半分が終了する予定となっており、少しずつではございますが、完成予想図の仕上がりになります。どうぞご期待下さい。

今年も佐伯中央病院は龍のごとく邁進し、患者様の視点に立ち誠心誠意を持って診療・治療をしていきます。

本年も医療法人小寺会をよろしくお願い致します。

佐伯中央病院　院長　小寺　隆

介護センター「ふれあい」より

生活支援をさせていただいている事例を紹介いたします。

広報誌17号の続き(最終回)

旦那さんの強い気持ちに押されそれに答えようと、『入院して、元気になろう』と決めたＡさん。前向きな気持ちが体に元気を呼び起こし、看護師さんに手伝って貰わなくても、食事を食べ終えられるようになりました。

食事の量が増えるのに合わせて、車椅子から歩行器、歩行器から杖とリハビリが順調にすすみました。Ａさんが特に励みにしたのは、塗り絵などの作品を仕上げるリハビリでした。出来上がった作品を周囲に褒められるたびに、やりがいを感じました。

体調も回復し無事退院する事が決まったＡさん。
ヘルパーの援助を受けながら、出来る事はぼちぼち自分でして、
以前のように旦那さんと穏やかに暮らしたい、という思いを受止めつつ
ケアマネージャーは、ある提案をしました。
“入院中にしていた、作品づくりのリハビリを続けてみませんか？”
嬉しそうに頷くＡさんにケアマネージャーは、デイサービスの説明をしました。

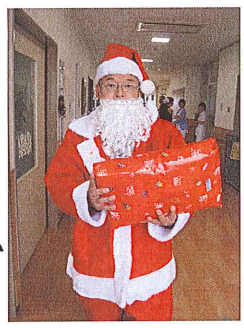
退院したＡさんの、一番の励みは、旦那さんと行くデイサービスです。
みんなで取り組んでいる作品の細かい部分の担当を任されて、『なかなか上手く出来なくて大変なのよ』と、話されるＡさんは旦那さんと同じ穏やかな笑顔を取り戻していました。

介護センター「ふれあい」では、居宅部門・訪問看護部門・ヘルパー部門・訪問リハビリ部門が協力して、ご自宅での生活を支援させて頂いています。

※プライバシーを考慮し、事例の一部にフィクションを交えています。

23-2012（ふれあい）までお気軽にご相談下さい

ステキなクリスマス会になりました



平成２３年１２月１６日（金）に、緩和ケア病棟のクリスマス会が開催されました。今回は、「玉ちゃんバンド」をお呼びし、ギターの音色と共に、クリスマスソングなどを披露して頂ました。すばらしい歌声に、皆さんうっとりされていました。

その後、お楽しみのサンタクロースが登場し、プレゼント配布がありました。皆さんから笑顔がこぼれていたのが、とても印象的でした。

今回のクリスマス会は多くの患者様やご家族の方々のご参加があり、とても素敵な時間が過ごせていたようです。クリスマスに向けて、スタッフ一同で病棟の飾りつけも行いました。少しですが、クリスマス気分が味わって頂けたのでは？と思います。

安全・安心な医療を受けていただけるように

患者さまに安全・安心して医療を受けていただけるように、当院では、医療の環境を整備するという大切な役割をになって、**医療安全管理部**が設置されています。

医療安全管理部は、医療安全管理者を中心に各部門の医療安全推進担当者とチームを組み、院内のパトロールや医療安全に関する最新情報の把握と職員への啓発など様々な医療安全活動を行っています。また、病院職員も医療安全に関する研修会などに参加し、安全に対する意識の向上に努めています。

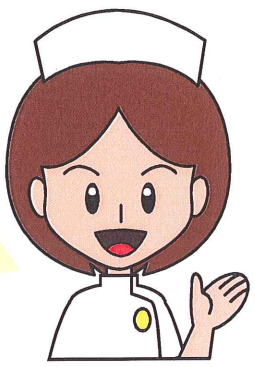
私たちが医療安全管理部スタッフです！

ご質問など気になる点がございましたら、医療安全管理部まで遠慮なく申し出下さい。

豆知識 切り傷などの応急手当について

日常的に起こりやすい、切り傷・擦り傷・刺し傷などの応急手当は、まず出血しているときは止血しましょう。傷口が汚いときは水道水で洗い流します。この際、出血を助長することがあるため、手際良く洗い、傷口を押し開いたり、傷の奥に触れてはいけません。

洗浄後は、市販の消毒薬があれば消毒し、清潔なガーゼで傷口を覆い包帯を巻いておきましょう。古釘や木片を踏んだ刺し傷、泥で汚れた深い切り傷は破傷風の危険性があるため、必ず病院を受診しましょう。



一品レシピ ～レシピ大百科より～

白菜とかぶと鶏肉のスープ

～２人分の材料～

○鶏肉　６０ｇ	○水　２００cc
○白菜　６０ｇ	○固形コンソメ　１／２ 個
○かぶ　８０ｇ（又は１個）	○酒　７cc
○みりん　４cc	○塩　少々

寒い日はあったか～い
スープで温まりましょう♪

＊　作り方　＊

①鶏肉、白菜は一口大に切る。かぶは皮をむいて４等分に切る。
②鍋に水、コンソメ、酒、みりんをいれて火にかける。ひと煮立ちしたら①の鶏肉、かぶを順に加える。
③煮立ったらアクを取り、かぶがやわらかくなるまで１０分ほど煮る。
④①の白菜を加え、サッとひと煮する。
⑤塩を少々入れて、味をととのえる。

☆職員募集☆ 私たちと一緒に、働いてみませんか？

佐伯中央病院では、明るく元気な職員を募集しています！
募集職種は下記の通りです。福利厚生は充実♪職員旅行もあります（海外旅行含む）
教育や勉強会等、日々職員が技術向上の為に努力し、患者様に接している病院です。
経験・未経験は問いませんので、皆さんのご応募お待ちしています♪
連絡先：0972-22-8846　担当：人事労務課　甲斐

●募集職種●　看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・医局秘書・
看護補助員・介護職員（関連施設勤務有り）
●関連施設●　鶴見の太陽（佐伯市鶴見）　彦岳の太陽（佐伯市狩生）

理念

一　患者様に視点をおき、心のかよう思いやりのある医療を提供します
二　専門的技術を生かし、より効果的な医療を追求します
三　地域と共に歩み、医療を通して地域文化の発展に貢献します

患者様の権利・義務

一　平等かつ公平に医療を受ける権利
二　個人として尊重される権利
三　十分な説明と情報提供を受ける権利
四　自らの意思で選択・決定する権利
五　自分の情報を承諾なくして第三者に開示されない権利（プライバシー保護の権利）

基本方針

一　生命・人格・人権を尊重し、質の高い医療を目指します。
二　時代のニーズに合った医療サービスを提供します。
三　健康づくり、疾病予防の担い手として、地域医療に貢献します。
四　志高く、豊かな人間性を有する医療人の育成を目指します。
五　効率的な運営を行い、働きやすい職場づくりに努めます。

一　正確な情報を提供すると共に、疾病や治療内容を十分に理解するよう努力する義務
二　医療に積極的に取り組む義務
三　快適な医療環境づくりに協力する義務
四　社会的ルールを尊重し、医療費を適正にお支払い頂く義務

〒876-0851　大分県佐伯市常盤東町６番３０号　TEL(0972)22-8846　FAX(0972)22-8844　発効日　H24.1.31
広報誌に掲載している写真・文章についての無断使用は禁止されています。　2011 佐伯中央病院　広報委員会